

一般社団法人地理情報システム学会第 103 回理事会 議事録

開催日時： 令和 7 年 8 月 4 日(月) 17 時 00 分～20 時 35 分

開催場所： Zoom によるオンライン開催

出席者： 理事：相、井上、大場、河端、佐藤、塚本、中谷、山田、山本
監事：大佛、巖

配付資料： 2025 年 8 月 4 日 第 103 回理事会資料

議事

・開会

定刻 17 時 00 分に、山本会長が議長を務め開会を宣言した。理事の出席数を確認し、本理事会が適法に成立している旨を告げた。

総理事 10 名

出席理事数 9 名

議事概要：

【報告事項】

1. 職務執行状況について

中谷理事より、企画委員会の活動として、G 空間 Expo に係わる国土地理院との意見交換、学会機関誌企画特集号の進捗状況、GISA 関係インタビューの YouTube 動画作成の進捗状況、学会賞（ソフトウェア・データ部門、実践部門）の推薦、マッチングイベント企画について報告があった。

河端理事より、財務担当理事として、月次会計検査の実施、「委員会・支部・SIG 経理規定」の改訂について報告された。支部・分科会担当理事として、上記改訂について支部等からの意見が反映されている旨、報告された。

大場理事より、法務関連の職務として、学会 Web サイトの定款・規程の更新、個人情報の研修を受けたことの書面の受付状況、分科会に関する今後の検討事項について、報告された。

井上理事より、大会実行委員会の活動として、2026 年大会の開催場所および日程について検討状況、2025 年大会情報サイトの公開開始について、報告された。2026 年大会の開催場所は審議の結果、東京科学大学に決定した。会場費が以前の試算より大幅に上昇していることを踏まえ、会場の配置の工夫、参加費の見直し、早期割引金額の見直し、賛助会員に寄付をお願いする可能性などについて、継続的に審議することとなった。

同じく井上理事より、学会賞委員会の活動として、学会賞の応募状況、大会優秀発表賞とポスターセッション賞の審査方法変更の検討状況について、報告があった。学会賞に係わる各委員会からの推薦に関連して、対象者への連絡内容等を今年度のものをテンプレートとして、次年度以降共有していくこととなった。

塚本理事より、教育委員会の活動として、出版企画の進捗状況、GIS 教育実践アワードのポスター配布や国交相担当者との顔合わせ、学会 HP への GIS カードサイトの追加、富山大会におけるシンポジウム企画の検討状況、「GIS 教育実践アワード」と「学会賞 教育部門」の比較整理の結果について報告された。出版企画に関連して、昨今の出版業界の状況を鑑み出版社から学会に一定冊数の買い取りを依頼されている旨が説

明され、審議の上承認された。買い取った書籍については、教育委員会を中心に GIS 教育の普及・啓発等に役立つかたちで活用していくこととなった。

相理事より、広報委員会の活動として、ニューズレターの発行、学会誌の新様式に関する SNS での周知、学会サイト上でのバナー広告導入に関する検討状況が報告された。広告収入に対する法人税等については、関係する情報を整理した上で顧問税理士に相談することとした。

編集委員会について、熊谷理事の代理として山本会長より、学会機関誌の投稿件数・査読・採択等の状況、新書式への移行措置の検討状況、J-STAGE における学会誌表紙のサムネイル画像の表示、大会特集号の査読プロセスにおける Editorial Manager 利用の検討状況、完全電子化のスケジュールについて、報告された。新書式への移行措置について理事会において検討し、著者には判組みの際に新書式に変更されること、それによりページ数が減ること等を伝えるものとし、著者に新・旧どちらの書式で提出を依頼するかは編集委員会に任せることとした。また、学会 HP (<https://www.gisa-japan.org/publications/about.html>) を更新し、既刊の論文については既に J-STAGE で公開されている旨、周知することとなった。

佐藤理事より、GIS 技術資格認定協会の活動として、GIS 資格認定件数、7 月のメールマガジンの発行、GISCA 名誉上級技術者の授与、審査委員長の変更について、報告があった。

山本会長より、ICEO & SI 2025、IAG'1 2025 および 2026、IAG'i 関係者の本学会学術大会での研究発表または参加の検討、ぼうさい国体での JpGU の出展について、報告された。IAG'i 関係者の本学会学術大会での研究発表または参加に関連し、IAG'i との棲み分け、英語セッションの設置の有無、招待枠の設置あるいは会員価格での参加などについて検討した結果、英語セッションは設けず、招待枠を設けることとした。但し、懇親会費用は招待に含めない。また、ぼうさい国体での JpGU の出展に関連し、JpGU 環境災害対応委員会担当の早川先生（北大）から学会の取り組みについて A4 一枚の資料の提出を依頼されていることが説明された。現在、学会でそういった資料は作成していないこと、提出期限が 8 月末と近いことなどを踏まえ、今年度は提出しないこととした。

2. 入退会会員リストについて

山本会長より、入退会の現状報告がなされた。

【審議事項】

1. 学会誌「GIS-理論と応用」の「投稿規程」の改訂について

山本会長より資料に基づく説明があり、承認された。規定内の表記について、「投稿資格」を「投稿できる者」等に変更する提案があった。

2. 大会特集号論文投稿規定・要領（大会特集号 WG）

井上理事より資料に基づく説明がされた。投稿規程は学会記事に関する記述を削除した上で承認された。投稿論文作成要領については内容を確認した。審査に関する規定は提案通り承認された。

3. 学会賞受賞者の決定（学会賞委員会）

井上理事より資料に基づく説明があり、承認された。

4. 大会優秀発表賞とポスターセッション賞の審査方法の変更（学会賞委員会）

井上理事より資料に基づく説明があり、承認された。

5. 学会賞研究奨励部門での大会特集号論文の扱い（学会賞委員会）

井上理事より資料に基づく説明があり、審議の上、受賞候補者の条件に記載された「『GIS－理論と応用』の審査論文」には大会特集号論文を含めることを決定した。なお、『講演論文集』は『予稿集』と名称が変更されたため、この点について表記を整理することとなった。

【その他】

1. 山本会長より、今年度よりジュニア会友制度が開始されポスター発表が可能となったことの広報について提案があり、塚本理事がちらしを作成し、GIS 教育実践アワードのポスターと併せて配布することとなった。また、こうした広報活動を次年度以降も継続して行うことを確認した。
2. 次回理事会は、大会 2 日目（2025 年 11 月 2 日）の午後に開催することを確認した。

・ 閉会

予定されていた議事をすべて終了し、議長が 20 時 35 分に本理事会の閉会を宣言した。

出席理事および監事

理事	相 尚寿
理事	井上 亮
理事	大場 亨
理事	河端 瑞貴
理事	佐藤 俊明
理事	塚本 章宏
理事	中谷 友樹
理事	山田 育穂
理事	山本 佳世子
監事	大佛 俊泰
監事	巖 網林

以上の決議を明確にするため、山田理事が本議事録を作成し、議長及び出席理事・監事全員が記名押印する。

2025 年 8 月 4 日

一般社団法人地理情報システム学会

理事	相 尚寿
理事	井上 亮
理事	大場 亨
理事	河端 瑞貴
理事	佐藤 俊明

理事	塚本 章宏
理事	中谷 友樹
理事	山田 育穂
理事	山本 佳世子
監事	大佛 俊泰
監事	巖 網林